



# 桜井谷小学校だより

令和3年(2021年)4月30日

5月号

## 緊急事態宣言下の学校教育活動について

4月23日(金)国において大阪府に緊急非常事態宣言が発令されました。豊中市教育委員会より、学校教育活動については、感染拡大防止対策のさらなる徹底を図りながら、分散登校や短縮授業は行わず、通常形態の学校教育活動を継続することと通知がありました。校内では、今後も健康観察・手洗い・換気・手すり等の消毒にさらに気をつけて、子どもたちとともに感染予防対策を徹底できるようにしてまいります。

ご家庭では、引き続き、毎朝の検温・健康観察・登校時のマスク着用、手洗い、咳エチケットの徹底等ご協力いただきますようお願いいたします。

## 1年生を迎える会



4月30日(金)に1年生を迎える会を行いました。3密をさけるため、運動場には、児童会役員と1年生が出て、2年生以上は、教室でライブ中継を視聴しました。入学後3週間余りが過ぎ、学校に慣れてきた1年生。これまで教室で過ごすことが多かったですが、全校朝会や児童朝会(リモート)にも参加します。こまったときには、2年生以上のおねえさん・おにいさんになんでも聞いてくださいね。

## 特別活動 ～委員会活動が始まりました。

児童会役員は4年生から6年生まで各クラス2名ずつで構成されます。

委員会は、放送、広報、環境・安全、給食、保健、体育、栽培、図書の8つの委員会があります。今年度の児童会スローガンは、

「仲間を思いやり、何ごとにも全力で行動する 桜井谷小」です。

保健委員会では、感染症を予防し健康で安全な学校生活を送れることを活動内容の一つにしています。606人の思いやりとやさしさで、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

## ともに学び、ともに育つ

「ともに学び、ともに育つ」支援教育のさらなる充実のために

～大阪府教育委員会 発行冊子より～

「大阪府には、障がいのある子どもをはじめ、外国にルーツのある子どもや、さまざまな立場にある子どもたちが暮らしています。すべての子どもたちの自尊感情や自己有用感を育み、未来への展望を持って生きていくためには、互いのちがいを認め合い、地域社会の中で関わりながらともに生きていく態度を育むことが大切です。これまで大阪では、このような「多様性」と「地域性」を大切にした教育を進めてきました。

障がいのある子どもの教育においても、生活を通して仲間とつながり、支え合い、高めあうことをめざす「ともに学び、ともに育つ」教育を基本とし、将来、自らの選択に基づき地域社会とかかわりながら、ともに自立した生活を送ることができるよう、子どもたちの可能性を最大限に伸ばすことを大切に進めてきました。そして現在、ほとんどの小中学校に支援学級が設置され、障がいのある子どもがともに学んでおり、高等学校においても障がいのある生徒がともに学んでいます。

このように大阪がこれまでに大切に培ってきた「ともに学び、ともに育つ」教育は、障がいのある子どもと周りの子どもたちが、集団の中で一人ひとりを尊重し、ちがいを認め合いながら、自尊感情を高め、互いを大切にする態度を育む取組みであるとともに、地域社会の一員として人や社会とつながり、支え合いながら、生き生きと活躍できる共生社会の実現をめざすものであり、その形成の基礎となるものです。」

本校でも、一人ひとりの個性を伸ばし、ちがいや多様性を認め合い、思いやりの心を育てていきたいと取り組んでまいります。

## 米づくり2021始動!

田んぼボランティアのみなさん、  
よろしくお願いします!

毎年、5年生が総合学習で校内の田んぼで米づくりをしています。地域の田んぼボランティアさんの協力で米づくりを行っています。10年以上、積み重ねてきた米づくりを通しての体験学習は、他校ではなかなかできないものです。今までの収穫量で最高は21kg!今年はさあ、何キロ収穫できるでしょうか?